

江戸はこうして造られた

江戸を造ったヒト・モノ



江戸を造ったヒト

人足の徴発と普請組の構成 一慶長8年(1603)の手伝普請一

城下を拡張するため、神田山からの掘削土を用いて日比谷入江が埋め立てられた。

普請の組編成		浅野組編成		
組頭	構成家数	名前	城地	石高(万石)
福島正則組	4家	浅野幸長	紀伊・和歌山	39.5
結城秀康組	3家	有馬豊氏	丹波・福知山	6.0
松平忠吉組	4家	前田茂勝	丹波・亀山	5.0
前田利長	4家	山崎家盛	因幡・岩桜	3.5
本多忠勝組	4家	池田長吉	因幡・鳥取	6.5
浦生秀行	1家	中村一忠	伯耆・米子	17.5
伊達政宗組	1家	堀尾忠晴	出雲・松江	24.0
生駒一正組	18家	池田輝政	播磨・姫路	52.0
細川忠興組	10家	峰須賀至鎮	阿波・徳島	18.7
黒田長政組	3家	加藤嘉明	伊予・松山	20.0
加藤清正組	3家	山内一豊	土佐・浦戸	20.2
上杉影勝組	3家	中川秀成	豊後・竹田	7.0
浅野幸長組	12家	計		219.9

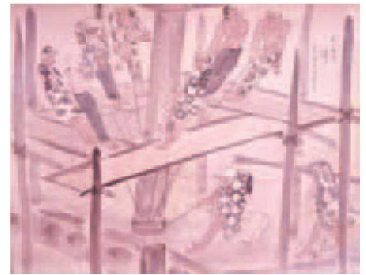
「千石夫」
知行1000石につき
1人ずつの人足を徴発

浅野組1組で
約2200人

全13組で
約30,000人
の人足を徴発



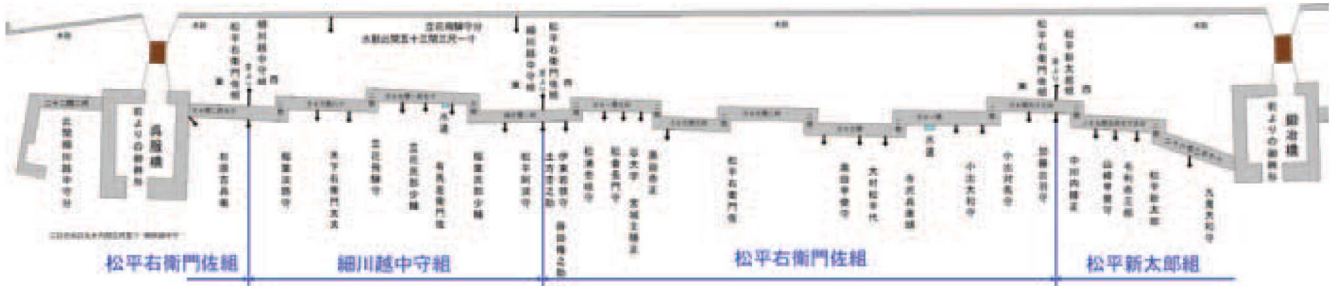
土工(眠江書帖『明治以前日本土木史』土木学会1936)



杭打ち(近世職人尽絵詞 東京国立博物館蔵)

「江戸城 將軍家の生活」村井益男著 中央公論社 1975をもとに作製

寛永13年(1636)外堀普請における石垣工事の施工分担図



「江戸城外堀物語」北原糸子著 筑摩書房 1999をもとに作製

江戸を造ったモノ

石材の調達

石垣図(箱根町教育委員会収蔵 下田優子氏寄託)

石材の運搬

- 【上野】中瀬(埼玉県大里郡)
- 各大名の領国
- 【相模】本目・岩村・真名鶴附近(神奈川県)
- 【伊豆】七ヶ浦・熱海・宇佐美・伊東・川奈(福取)
- 安房・上総の山地(千葉県)

木材の調達

運材図会(国立公文書館蔵)

木材の運搬

- 関東の山々(利根・荒川上流)
- 青梅
- 信濃・伊那(長野県)
- 木曾川上流(長野県)
- 三河・千沢山・駿河・大摩山・富士川上流

石灰の調達

職人尽歌古(東京国立博物館蔵)

石灰の調達

- 野州石灰・葛生
- 武蔵国多摩郡成木村・小曾木村(青梅の近辺)
- 西部山地(八王子)

江戸城と城下町は、一体となって築かれた。江戸築城は手伝普請によって行われ、各国の大名が領国の農民を人足として徴発した。建設資材は全国各地から運ばれ、巨石や巨材の運搬には、さまざまな工夫がこらされた。